

## 2019年度 活動報告書

事業が増える中で「あるべき法人運営」を目指すべく、理事会だけでなくプロジェクト会議等でキャンプ事業を含めた法人体制を改めて再考する1年として進めてきた。成果は組織体制の確立を2019年2020年度の2年をかけて法人規定やルール作り、ホームページのリニューアル、SNSの活用など広報活動の向上、助成金申請の積極的な動きなど今できることを1つずつ整理。また、法人内の雇用における環境整備、特に労務や会計など1事業から3事業に増えたことで煩雑だった部分を税理士・社会労務士の調整やルール作りをする中で透明性と体制基盤の強化につながっている。

キャンプ事業においては、これまでのキャンプをブラッシュアップすべく、ディレクター体制を確立するためにディレクターミーティングを任意で開催し次世代のディレクター候補と今後のキャンプの将来像について語り合った。特に、グループキャンプでの活躍が期待されているが、それでも課題は山積している。キッズキャンプの今後の継続、夏期休暇中の長期キャンプにおけるディレクターの担い手問題、新規キャンプ事業の展開など具体策を打ち出していかなければならないところに来ている。2020年度新たに組織体制強化の中で位置づけたキャンプ事業統括を中心に今後の見通しをもった計画策定が急がれる。

2017年に就労支援事業・平野みんな食堂ネットワーク拠点事業がスタートして3年が過ぎ、就労支援事業においては黒字運営に切り替え、現状より一歩前に更なるアクションを進めていく方向ではあるが、年度末に事業所の移転があり、新年度からより地域に根差して就労支援を展開していく必要がある。

平野みんな食堂ネットワーク拠点事業は石の上にも3年の言葉どおり、子ども食堂等の関係機関との連携、ノウハウや学生ボランティア育成など確実につながりを広げ、毎年実施のみんな食堂まつりでは500名の参加する催しとなった。しかしながら、平野区の委託事業としては2020年3月31日をもって事業終了。次年度以降については「ひらのみんな食堂ネットワーク連絡協議会」として他法人での運営、キャンピズとしては運営協力という形でサポートする。

2019年12月末から発生した新型コロナウイルスが全世界に感染拡大し、日本も2020年3月あたりから影響し始める中で、キャンプ事業ならびに就労支援事業、平野みんな食堂ネットワーク拠点事業も事業中止や延期、変更を余儀なくされた。新年度もこの状況が継続されるので法人として適宜対応が必要になるだろう。

コロナの問題は法人運営にとって非常に大きな影響を与えているが、新たな可能性をつかむチャンスでもあると認識している。Web会議を導入することでこれまで出席が難しかった理事の参加や、Web会議においては資料作りが非常に重要である点なども含めて、今後の会議の在り方が大きく変化すると感じている。またホームページやフェイスブックなどのWebツールの活用なども含め、今後の展開にどのようにして乗り切っていくかが課題である。

## キャンプ事業部門

これまでグループキャンプは「(財)大阪市立青少年活動協会 あいす・おおさか」と共催で実施してきた。その背景としてあいす・おおさかでは受け入れが難しい、障がいのある児童をキャンピズが受け入れることで、あいす・おおさかが指定管理する施設の利用率やプログラム費等の減免、予約の優先などを受けてきた。

しかしながら、数年前より財政面の問題から減免等金銭的な補助は打ち切れ、予約の優先や物品貸与などの協力のみとなっていたことから、覚書を交わしての共催実施は双方にとって大きなメリットはないと判断し、2019年度よりグループキャンプは主催事業となった。覚書は交わしてはいるが、あいす・おおさかとは十分な関係性の構築ができており、2019年度のグループキャンプの運営に支障はなかった。昨年度まで参加者不足(昨年度平均7名)だったグループキャンプ・チャレンジも平均11名の参加となり安定した運営ができた。

ここ数年、課題となっていたキャンプディレクターの人材確保については、担い手の確保に向けた動きとしてCD研修の実施やキャンプディレクターを担ってもらいたいメンバーを招集し今後の体制について語る場を設けた。また、学生に向けた研修キャンプの講師を学生時代にボランティアとして活動していたメンバーに依頼することで、途絶えていた関係の再構築を図った。

宿泊キャンプはイルカキャンプを廃止したことで、夏季宿泊キャンプは5日以上のみとなり、新規会員や長期の休みを確保することが困難なメンバーには参加のハードルが高いため、短期宿泊プログラムとなる「わんぱくキャンプ」を追加した。ドキドキキャンプ、ユニバーサルキャンプ、研修キャンプ、その他事業、委託事業については以下の通り実施した。

昨年末ごろより新型コロナウイルスが流行し、キャンプ運営にも大きな影響を与えている。1月及び2月は予定されていた全てのキャンプを実施。手洗いの徹底やマスク着用などの感染対策を行って実施したが、マスク着用を嫌がるメンバーや、自身の体調変化を訴えることが困難なメンバーもいること、社会的にも活動自粛が求められていたこともあり、安全を最優先に考え3月のキャンプは全て中止とした。今後は中止によるメンバーの混乱や学生ボランティアのモチベーション低下などに考慮した動きを見せていかなければならない。

### 1. 主催事業

#### ①グループキャンプ

##### グループキャンプ・チャレンジ

実施日：5/11-12、6/8-9、10/5-6、11/2-3、12/7-8、1/18-19、2/8-9、3/14-15(中止)

活動場所：大阪市立信太山青少年野外活動センター

参対象者：キャンピズクラブ会員：前期 5月(11名)6月(11名)10月(12名)11月(11名)

後期 12月(12名)1月(11名)2月(11名)3月(自粛中止)

内容：「成功体験」を通して自信を育み、実りある日常生活を送るきっかけとなることを目標に、野外活動プログラムを行った。社会生活を営むために必要なスキルを取得するため、年間通した小グループ活動を同じ場所、同じメンバーで行った。

##### グループキャンプ・ゆったり

実施日：5/18-19、6/15-16、10/19-20、11/16-17、12/7-8、1/25-26、2/15-16、3/14-15

活動場所：大阪市立信太山青少年野外活動センター

参対象者：キャンピズクラブ会員：前期 5月(14名)6月(18名)10月(19名)11月(19名)

後期 12月(15名)1月(15名)2月(15名)3月(自粛中止)

内 容：余暇活動支援を中心とし、時間に追われることなくゆっくりとアウトドアを楽しむことを目的とし、親子分離や日常生活訓練等についても必要に応じて実施した。

### グループキャンプ・キッズ

実施日：6/8-9、10/26-27、11/23-24

活動場所：大阪市立信太山青少年野外活動センター

参対象者：キャンピズクラブ会員及びその保護者：

6月（子:11名 親:3名）10月（子:12名 親:2名）11月（子:12名 親:2名）

内 容：野外を中心に、様々なフィールドでの楽しいキャンプ活動や遊びを通し子どもの仲間づくり、社会性などの成長を促した。家族も一緒に活動へ参加でき、家族は子どもの野外活動中に、子どもの特性理解と子育て支援の在り方の情報交換や、悩み等の話し合いの場ともなった。

### ②宿泊キャンプ

キャンプ名	期間	場所	参加者数	特記事項
10泊キャンプ	8/11-21	国立室戸青少年自然の家	キャンピズクラブ 19名	長期キャンププログラム
淡路ゆったりキャンプ	8/22-27	国立淡路青少年交流の家	キャンピズクラブ 22名	中期キャンププログラム
わんぱくキャンプ	8/5-7	豊中市青少年自然の家	キャンピズクラブ 13名	短期キャンププログラム
スノーキャンプ	12/25-28	国立乗鞍青少年交流の家	キャンピズクラブ 22名	スキー・雪遊びなどを楽しむプログラム

### ③どきどきキャンプ

#### 宿泊及びデイキャンプ

実施日：6/29、10/12-13(台風により中止)

日 数：宿泊及び日帰り

活動場所：6月(京都水族館)、10月(丹波風の家)

参加者：キャンピズクラブ会員：6月（8名）10月（中止）

内 容：余暇活動支援を目的として、野外活動プログラムを活用し小グループで活動した。

#### ユニバーサルキャンプ

実施日：6/1-2

活動場所：大阪市立信太山青少年野外活動センター

参加者：認知症、障害などに関わらず高齢者全般と高齢者キャンプに興味がある方定員 117名

内 容：高齢者を対象としリハビリ・レクリエーション・世代間交流を目的として、野外活動プログラムを活用し活動した。

### 秋の温泉ツアー

実施日：9/28-29

活動場所：吉野山・宿泊先：宝の家

参加者：キャンピズクラブ会員：12名

内容：これまでのアウトドア活動を基本とするキャンプではなく、観光や慰安を活動の中心としたツアー企画を実施した。近鉄特急「青の交響曲」に乗車するなど観光を楽しんだ。

### ④その他のキャンプ

#### 研修キャンプ及びCD研修

実施日：6/1、7/20、9/7-8、2/1-2

活動場所：大阪市立信太山青少年野外活動センター他

参加者：キャンピズメイト会員：5月（23名）6月（56名）7月（19名）9月（32名）2月（28名）

内容：キャンプを支えるボランティアスタッフに対しトレーニングキャンプを実施し、ボランティアの資質向上を図る。キャンプ技術のみならず、社会福祉分野などの研修を行いボランティアのスキルアップを目指した。

## 2. その他

### ①団体の行うキャンプへのサポート(委託事業)

#### 専門学校ベルランド看護助産大学校 1泊研修

実施日：4/4-5

活動場所：大阪府青少年海洋センター

対象：ベルランドの看護学生

目的：新入生オリエンテーション

#### 大阪市健康回復キャンプ

実施日：10/13

活動場所：大阪市立信太山青少年野外活動

参加者：大阪市に在住の喘息罹患の小学生

内容：喘息の正しい知識を学び、喘息体操、ピークフローの使用方法など、喘息に負けない強い体を作るための指導・教育を行うとともに、夏季休暇中の思い出作りを提供した。

#### (株)イング主催キャンプ

実施日：8/4-7

活動場所：国立曾爾高原少年自然の家

参加者：学研教室に通う小学生から中学生

内容：夏休みを利用した余暇支援及び体験学習

### ②障害者キャンプに関する調査研究活動

特になし。

### ③障害者キャンプに関する情報収集・提供

キャンピズ・ニュースの発行

ホームページ上でのブログ掲載及びFacebookでの活動報告及びプロモーション活動

### ④運営委員会の実施

学生の代表と理事及びキャンプディレクターとの意見交換の場として適宜開催している。

## 就労支援事業部門

事業所開始から3年が過ぎ、厳しい運営面においては利用率アップを図ることで黒字化につながった。

利用率アップの要因としてアットホームな雰囲気の中で利用者、スタッフが居心地の良い空間を過ごすことができ、一般就労や別事業所へステップアップされた利用者が訪問に来るなど、事業所という位置づけだけでなく気軽に立ち寄れる場所になっている。

作業はどんな障害の方でも1つのことができれば仕事ができることをモットーにしているため、利用者一人ひとりに合わせた作業を提供することが出来ている。新たに、地域でナッツの販売をしているところからの仕事依頼があり、5月からナッツ・ドライフルーツの充填作業が開始。クルミなどふるい作業が増え、利用者にとって分かりやすく、やりやすい仕事工程ができた。作業による不備は事業所全体で改善に徹し、受注業者へ丁寧な対応をすることで4社との作業受注を継続する。サプリメント作業は企業理解もありほぼ100%の仕事を受注。

地域とのネットワークは初めての場所ということで社会福祉協議会や地域の障害者相談支援センター、近隣事業所等へ挨拶やイベントに参加する中で事業所周知は出来てきている。その成果もあって年間の見学・相談件数が他の事業所等に比べると多い。また、地域の家族会や他団体からの問い合わせ、キャンプとのコラボ(案)などつながりは増え始めてきている。

年度末、消防法による建物への指導が理由で移転となり新たな場所でのスタートとなる。

### 利用者状況

定員 20 名 ( 登録 23 名 (男:14名、女:9名) 年間月平均利用者数 11.4 名 )

	H30年度(2018年)	R1年度(2019年)
稼働率	37.56%	57.7%
利用者延べ人数	1,818人	2,739人
平均利用者数	7.6人	11.4人
報酬単価(1人1日当り)	6,201円	8,183円
サービス活動収益	11,134,534円	22,521,479円

### 利用者の障害状況

身体	知的	精神	発達
1	10	12	(1) ※

※精神と重複の方

### 年間利用者増減

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用	2	2	2	1		2				2	2	
解除			1				3	1				

令和2年3月31日現在

解除の事由、他事業所へ移行、福祉サービス利用中止、

企業実習1名 週3日(月・水・金) ※2020年1月で利用者実習中止

## 職員配置と処遇

- (1) 管理者 1名 (常勤・サービス管理責任者兼務)
- (2) サービス管理責任者 1名 (常勤・管理者兼務)
- (3) 生活支援員 1名 (常勤)
- (4) 職業指導員 2名 (非常勤)
- (5) 目標達成指導員 2名 (非常勤)

## 事業報告

### (1) 生産活動

生産活動の機会の提供にあたっては、利用者の個性・体調・能力に応じ支援していく。

作業種名	製品・作業内容
有名菓子の軽作業	お菓子の箱詰め作業 ・トリュフチョコレート箱詰め・梱包 ・箱折り、バレンタイン関係チョコレートウレタン、トレー入れ ・ネコ缶フィナンシェ詰め作業 その他 ・食紅(色粉) シュリンクフィルムスプーン差し
サプリメント作業	ネットショッピング販売のサプリメント ・パウダー類(難消化性デキストリン、おから、青汁) 計量、充填 及びシーラー、ラベル貼り ・ビン類 ラベル貼り、スタンプ、緩衝材巻き ・サプリメントジュレ、水素スティックの袋詰め・シーラー ・製品出荷用梱包
DM発送	キャンピズニュース・印刷封入作業 大阪体育大学OB会・総会案内・印刷封入作業
ナッツ・ドライフルーツ	ナッツ・ドライフルーツの計り・充填作業
ペットサプリ	ペットのエサ・サプリメント計り・充填作業

### (2) 関係機関との連絡会及び相談、見学会

2月15日(土) 芦屋の障がい福祉まるっと説明会

### (3) 地域の行事・イベントへの参加

- 4月5日(木) 芦屋川近隣 お花見・避難訓練
- 5月2日(木) 外出行事(神戸ハーバーランド)
- 5月29日(水) 缶バッチ作成 リードあしや(あしや市民活動センター)
- 7月16日(火) ブルーサンタープロジェクト 地域ゴミ拾い活動
- 11月13日(水) 映画鑑賞「キセキのハガキ」(ルナホール)
- 12月9日(金) ケーキの街芦屋 福祉施設ケーキ贈呈式(保健福祉センター)

12月25日(水) クリスマスパーティ リードあしや(あしや市民活動センター)

1月15日(水) リサイクルパソコン贈呈式(芦屋市役所)

(4) 研修及び講習・講座

5月2日(木) 虐待防止研修(スタッフ全員)

10月29日(火) 市民活動団体交流会(あしや市民活動センター リードあしや)

9月12日(木)、10月31日(木) サービス管理責任者研修(水井)

2月21日(金) サービス管理責任者更新研修(阪田)

その他

① 見学

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	6	3	1	2	1	1	1	3	1	2	2	2	25
支援 家族	4	2		2	1		3	3	2		2		19

② 実習・体験

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習 体験	4	3		1	1	4	2	3	1	1	1	2	23

※県立芦屋特別支援学校 高等部 2.3年

## **みんな食堂ネットワーク拠点事業**

平野区から3年間の期限付きで委託を受けた本事業を、より充実した内容で終えることができた。

### **1、目的**

平野区の子どもたちの「生きる力」育成プロジェクト（+10）の理念に基づき、子どもたちが経済的な理由、家庭環境に左右されることなく、住み慣れた地域（おおむね小学校区）で健やかに育まれるために、子どもの居場所や世代を超えたつながりづくりの運営をサポートし、子どもの「生きる力」と平野区全体で子どもを育む地域家庭の教育力の向上をめざすことを目的とする。

「みんな食堂」とは、いわゆる「子ども食堂」等の居場所活動に、平野区政のキーワード「多世代交流」の観点を取り入れたもので、子どもたちを中心に世代を超えて住民同士が気軽に集えることができる交流の場のこと。

### **2、対象者**

平野区内において子ども食堂等の「子どもの居場所」を継続的に運営、または開設を検討している個人または団体等（以下、「運営団体等」という）

※ 子どもの居場所：地域に居住する子どもが安心して過ごし、学ぶことのできる場。

その子どもに対して、無料または材料費程度の低価格で食事の提供や学習支援を行う場であり、多人数での食事や、学習、社会活動体験、居場所でふれあう子どもや大人とのコミュニケーション等を通して将来の自立に向けた生きる力を育みことを目的とした場。

### **3、委託期間**

2019年4月1日から2020年3月31日まで

### **4、実施場所**

もと平野青少年会館及び平野区内各所など

### **5、事業概要**

- ・拠点事業として、各地域の活動を支援する寄付食材等のフードドライブや広報活動を支援し、区内で新たに活動を始める子ども食堂等の「子どもの居場所」の開設支援を行う。
- ・運営などの相談支援（コンサルティング）を行い、必要に応じてすでに運営している子ども食堂等の「子どもの居場所」の見学及び実習やイベントなどを企画実施する。
- ・ネットワークを構築するため、運営団体等の相互の情報交換の場づくりやその運営、地域団体や小学校等との連携による子どもの居場所活動の地域定着を支援する。

## **事業報告**

### **1 運営委員会**

本法人・区社協・桃山学院大学・常磐会学園大学・関西大学・大阪成蹊短期大学で構成した運営委員会を実施し、3年間の活動評価を行った。2020年度以降は区内関係者で構成する協議会で運営していく。

日 時：2020年3月10日（火） 15：00～

場 所：もと平野青少年会館



## 2 相談事業

相談者に寄り添い継続した相談業務を心がけ、関係機関との密なる連携を図り、より具体的なアドバイスや情報提供を行った。こどもや家族が抱える福祉的課題解決のため社会福祉士、精神保健福祉士を専門員として配置した。

相談内容は、食堂立上げや運営について、利用についての問い合わせに加えて、ボランティアの問い合わせ、ネットワークが企画・運営をした「平野区みんな食堂まつり」「自然の中のみんな食堂」等の事業に関する問い合わせが多くあった。食堂・居場所の運営に関する具体的な相談内容は「助成金申請に関して」「食器・什器の調達」「フードドライブに関して」等の相談があった。

### 2019年度の相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
来 所	12	14	6	11	10	14	28	28	27	13	12	12
電 話	15	26	27	36	30	23	30	30	16	23	26	34
メール他	10	5	6	9	15	40	25	25	3	26	18	41

## 3 平野みんな食堂ネットワーク連絡会

運営団体を中心に、立ち上げを検討する団体や個人と区社協などの関係機関で構成した。2019年度はゲストを招いてミニ勉強会を催しみんな食堂・こどもの居場所の豊かな運営につながるよう配慮した。(計5回開催 延べ64名参加)

## 4 みんな食堂井戸端会議

運営団体の親睦・交流・情報交換の場、今後みんな食堂・こどもの居場所の立ち上げを検討されている個人、団体への支援を目的に開催した。大学生グループ「平野みんな食堂パイオニア」の活動発表の場としても活用した。(計5回開催 延べ109名参加)

## 5. 研修・養成講座

みんな食堂・こどもの居場所を「人権・安全」の視点に立つて行うため、人権研修を1回、こどもの居場所指導者・ボランティア養成講座を「工作」「料理」「街歩き」をテーマに3回開催し、指導者・ボランティアの育成とスキルアップを図った。(計4回開催 延べ78名参加)

## 6 若者ボランティアネットワークづくり

大学生のボランティア力を活用して、みんな食堂・こどもの居場所との交流・支援活動の推進を目的とした『平野みんな食堂パイオニア』の活動を実施した。

各みんな食堂・こどもの居場所訪問に加えて、学生たちのスキルアップを目的に「学生主体のこども食堂」の企画と運営。平野区子ども子育てプラザへの出前プログラムを実施した。新しい動きとして長吉高等学校の協力を得て、4名の高校生が夏休みにボランティアとして参加した。(登録者27名)

## 7 自然の中のみんな食堂

自然の中で子ども達の生きる力を育む『自然の中のみんな食堂』は、夏は「地域子ども支援ネットワーク事業（大阪市社会福祉協議会）との共催で、対象を大阪市内全域の小学生に広げて行い、パイオニアからは22名が参加した。春は2020年3月26日～29日の二泊三日で実施した。（参加者33名）

## 8 平野区みんな食堂まつり

各みんな食堂の活動成果の発表と世代を超えた交流を目的とした「平野区みんな食堂まつり」を実施した。

（11月4日実施 504名参加）

## 9 フードドライブ

今年度は、家庭の食品ロスを減らして、必要な人や場所に余った食材を届けるフードドライブ活動に力を入れた。区役所保健福祉課（地域福祉）・環境局東南環境事業センター・平野区社協とネットワークを作り区民対象のイベントでフードドライブコーナーを設け、そこで集まった食材を区内各食堂に配布した。

## 10 みんな食堂アドバイザー

みんな食堂アドバイザーの皆さんには、相談業務について具体的なアドバイスを頂くとともに、平野区みんな食堂まつり実行委員会の運営、ボランティア養成講座の企画と運営・学生主体の子ども食堂の実施についてもご協力を頂いた。

## 11 シルバーボランティア

平野区在住の中高年男性を対象に、「長年培ってきた生活技術をいかし、世代間交流をはかり自らの居場所作りを推進する」ことを目標に、みんな食堂・子どもの居場所でのボランティア活動をよびかけた。

## 12 広報活動

ホームページ・フェイスブックを活用し、みんな食堂・子どもの居場所の活動紹介、イベント案内、ボランティアへのお誘い等の情報を提供した。また『平野みんな食堂ネットワークだより』を年間6月10月12月2月の4回発行した。

春と秋の2回『平野区みんな食堂応援寄席』を開催し、桂坊枝師匠、桂福丸師匠の協力を得て、寄席という新しいツールで、広く区民の方にみんな食堂を知ってもらうきっかけ作りとなった。地域の社会福祉法人・介護事業所・鍼灸院・寺院・郵便局などの協賛を得ることができた。

### ご協力頂いた法人・団体

社会福祉法人 永寿福社会 社会福祉法人 大念仏寺社会事業団  
総本山 大念仏寺 如願寺 (株) おもしろ旅行社  
大阪平野本町郵便局 東住吉公園矢田郵便局 リアール・ひらの  
ひかり鍼灸整骨院 リハビリデイサービスてくてく

## 諸会議の開催報告

### 定例総会の開催

1. 開催日時： 2019年6月16日(土) 19時00分 から 21時00分 まで
2. 開催場所： 大阪南YMCA 多目的室 〒543-0054 大阪府大阪市天王寺区南河堀町 9-52
3. 正会員数： 24名 出席正会員数 18名 (内委任 4名) 不明 6名
4. 議長の選任

定刻になり司会者、水流寛二氏は本日の総会は定員を満たしたので有効に成立した旨を告げ開会を宣言し、次いで代表理事挨拶に続き議長の選出をはかったところ、満場一致で水流寛二氏が議長に選任され、議長挨拶の後、議案の審議に入った。

5. 議事の経過の要領、及び議案別議決の結果

#### 第1号議案 2018年度事業報告に関する件

議長は、2018年度活動報告書の案を示し担当が要点を説明して審議の結果、満場一致でこれを承認した。

#### 第2号議案 2018年度会計決算報告に関する件

議長は、2018年度活動計算書の案を示し事業担当が要点を説明して審議の結果、満場一致でこれを承認した。関連して監事から財産目録、収支計算書は収支状況及び財政状況を正しく示している事、事業報告書の内容は真実である事、及び理事の職務執行に不正、または法令・定款に違反する重大な事実はない事を認める監査報告があった。また今後10年先を見据えた事業運営を図る様助言があった。

#### 第3号議案 2019年度事業計画に関する件

議長は、2019年度活動計画書の案を示し事業担当が要点を説明して審議の結果、一部追記の上、満場一致でこれを承認した。

#### 第4号議案 2019年度活動予算に関する件

議長は、2019年度活動予算書の案を示し事業担当が要点を説明して審議の結果、一部字句修正の上、満場一致でこれを承認した。

#### 第5号議案 役員改選に関する件

議長は、平成29年6月28日に選任され、平成29年7月1日に着任した理事及び監事全員が令和元年6月30日をもって任期満了につき、その改選方を議場に諮ったところ、満場一致をもって、次の者が理事に退任及び選任された。なお、福山正和氏、金田喜弘氏、及び入江田隆博氏の理事退任と金本拓也氏、信達和典氏の新任を諮り、満場一致でこれを承認した。

### 理事会の開催

2019年度は昨年同様に運営における諸問題の検討や理事会での決議を必要としない事項についての決定は、プロジェクトチームを中心として行い、理事会においては各種報告及び決議を中心とし、これまで月1回程度実施していた定期理事会を必要に応じて開催する形式に変更した。

#### 第1回 理事会 (電磁的手法による)

日時：2019年7月1日(月)

内容：代表理事、副代表理事の互選

## 第2回 理事会

日 時：2020年1月6日（月）19:00～21:00

場 所：モンテ天満橋 401 号室

出席者：水流寛二、則包正人、西川正人、藤原一秀、新井純一、金本拓也、阪田昌三、信達和典 [50 音別 敬称略]  
水井広起（キャンピズ/事務局）、土橋勇（事務局）

内 容：①事業報告  
②次年度事業計画及び将来構想  
③プロジェクトチームからの報告  
④運営委員からの報告

## 第3回 理事会

日 時：2020年3月18日（月）19:00～21:10

場 所：大阪市立総合生涯学習センター 第2会議室

出席者：新井純一、石田易司、\*金本拓也、阪田昌三、\*信達和典、\*竹内靖子、水流寛二、則包正人、\*西川正人、  
藤原一秀 [50 音別 敬称略]  
水井広起（キャンピズ/事務局）、\*土橋勇（事務局） \*印：Web 出席者

内 容：①次年度事業計画  
②次年度事業予算  
③法人規定改訂及び新規定作成  
④報告連絡事項

## プロジェクト会議の開催

法人の将来ビジョンを確認し、就労支援事業を中心に経営面から体制など議論を重ねていたが、4月からの安定を踏まえ、課題は継続して審議しながら、新たに法人全体に関わることを理事会で決議するまでに準備や検討をしていく会議として位置づけする。

## 第1回 プロジェクト

日 時：2019年6月25日（火）19:00～21:00

場 所：市民活動スクエア CANVAS 谷町

出席者：水流寛二、則包正人、西川正人、信達和典、金本拓也、阪田昌三 [順不同 敬称略]

内 容：①プロジェクト会議の趣旨の確認  
②就労支援事業の進捗と課題整理  
③HP関連、労務について

## 第2回 プロジェクト

日 時：2019年7月25日（木）19:00～21:00

場 所：市民活動スクエア CANVAS 谷町

出席者：水流寛二、則包正人、水井広起、西川正人、信達和典、金本拓也、阪田昌三 [順不同 敬称略]

内 容：①就労支援、現状直近課題の共有・意見（賞与支給）

- ②広報及びHP、会員管理
- ③法人の体制見直し、担当制に関して

### 第3回 プロジェクト

日 時：2019年10月29日（火）19:00～21:00

場 所：市民活動スクエア CANVAS 谷町

出席者：水流寛二、水井広起、西川正人、信達和典、金本拓也、畠中稔生、阪田昌三 [順不同 敬称略]

- 内 容：①各事業の報告
- ②広報及びHP、会員管理
  - ③事務局体制（新規採用）
  - ④その他

### 第4回 プロジェクト

日 時：2019年11月18日（月）19:00～21:00

場 所：市民活動スクエア CANVAS 谷町

出席者：水流寛二、水井広起、西川正人、信達和典、金本拓也、阪田昌三、松井翔兵（オブザーバー）

[順不同 敬称略]

- 内 容：①各事業の報告
- ②広報及びHP、会員管理
  - ③労務に関して（雇用契約及び誓約書の件）
  - ④キャンプ事業 課題の共有と整理

### 第5回 プロジェクト

日 時：2020年2月6日（木）19:00～21:00

場 所：スターバックス 谷町筋NSビル店

出席者：水流寛二、則包正人、西川正人、信達和典、金本拓也、阪田昌三 [順不同 敬称略]

- 内 容：①研修報告とCD,ACD 育成関連
- ②法人業務と労務について（勤務変更と給与改定）
  - ③就労支援事業所移転の件

### 第6回 プロジェクト

日 時：2020年3月5日（木）19:00～21:00

場 所：市民活動スクエア CANVAS 谷町 畳スペース

出席者：水流寛二、則包正人、水井広起、信達和典、金本拓也、阪田昌三 [順不同 敬称略]

Zoom 参加：西川正人、畠中稔生 ※Web 会議 Zoom 試行

- 内 容：①次年度事業計画及び予算（理事会に向けて）
- ②就労支援、現状報告及び課題の共有（事業所移転）
  - ③キャンピズガイド
  - ④その他（助成金）